

# 保育者の就業継続に必要とされる支援 —日英比較研究を通じて—

山本 睦  
(常葉大学 保育学部)

## 【問題と目的】

英国：2014年以降、Early Years(就学前；以下EY)を対象とした教育の質向上への提言 (Nutbrown, 2011, 2012, 2013)

→資格の高度化

日本：2015年度より、短期研修のみで現場に入る「子育て支援員」という無資格者による保育を認める(厚労省、雇児発0521第18号) →無資格者の採用

相反する施策を採る日英国間で、保育者の再就職に際し、再就職経験者あるいは志望者が考える**必要な支援**をインタビュー調査によって比較分析した。

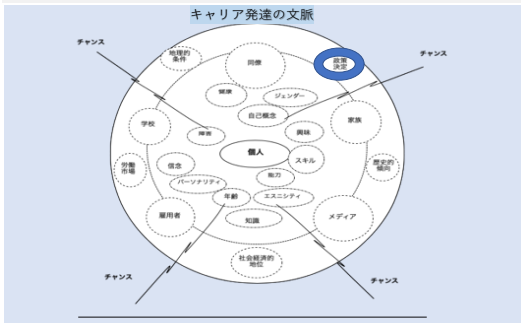


Figure1 キャリア発達のSystem Theory Framework (McMahon, M. and Patton, W. 1995,P18, Figure1を翻訳作成)

本研究は、McMahon & Patton(1995,2018)のキャリア発達モデルであるSystems Theory Framework(STF；個人に付随する特性を中心として社会的影響因が階層化して示されている)に含まれ、最も外側の層である「**政策決定**」の影響を考察することを目的として、日英比較を行っている。

【方法】対象；①S県内2市公立園保育者（再就職経験者；非常勤・有資格者）13名，②イギリスデヴォン州保育者（再就職志望者・経験者；無資格者）18名，③イギリスデヴォン州保育者（再就職経験者；有資格者）13名。園内空き部屋にて、調査者と1対1で半構造化インタビューを実施。

「再就職に際し必要な支援」の質問に対する回答を抽出し、データとした。IBM SPSS Text Analytics for Surveysにより、回答を品詞タイプ、コンセプトパターンの抽出後、出現頻度に基づくカテゴリ化を実施した。出現頻度は抽出カテゴリ数を見て、4以上を共通基準として設定した。

【結果と考察】カテゴリの共起を表す視覚化を行った結果、Figure2,3,4のようになった。

日本の保育者：  
「子ども-私-家族」が強い共起。  
→家庭内での支援重視

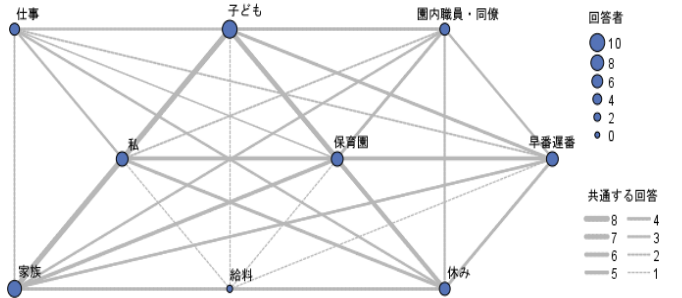


Figure2 支援；日本の保育者カテゴリWeb（グリッドレイアウト）

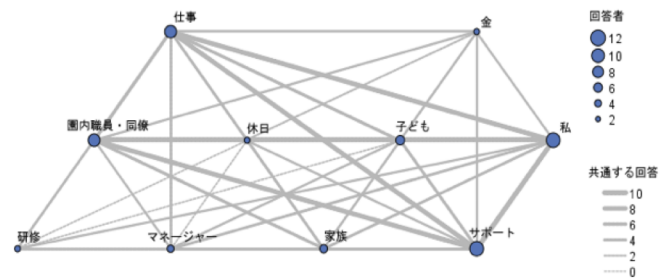


Figure3 支援；英国志望者無資格者カテゴリWeb（グリッドレイアウト）

英国志望者・無資格者：  
「サポート」が「私」「仕事」「園内職員・同僚」と同じ程度共起する。  
→「私」「職場」の支援重視

英国有資格者：  
「仕事」と強い共起。またカテゴリ数が高2グループより多く、多様性が見られる。

→個人の事情に対応した多様なサポートの存在

→有資格者の稀少性による特権  
「正規職員だがパートタイム」で復職可能

Figure4 支援；英国有資格者カテゴリWeb（グリッドレイアウト）

英国の有資格者は「質向上の制度改革」の恩恵を受け、キャリア継続のための多様な支援が受けられやすい